

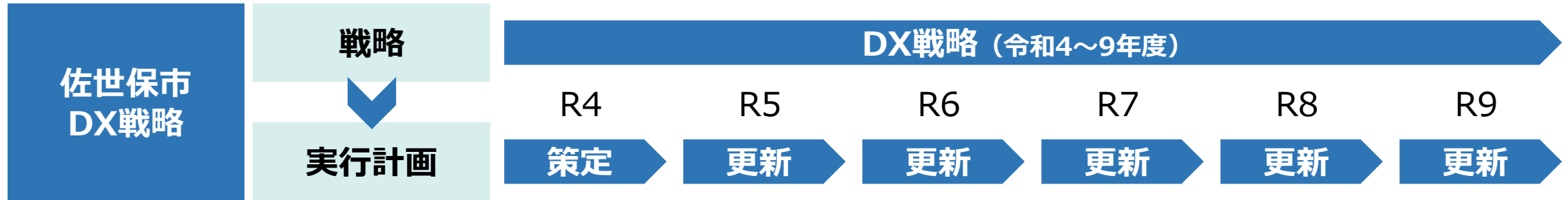
# 佐世保市 DX戦略 実行計画

令和8（2026）年度版  
佐世保市

# 実行計画の概要

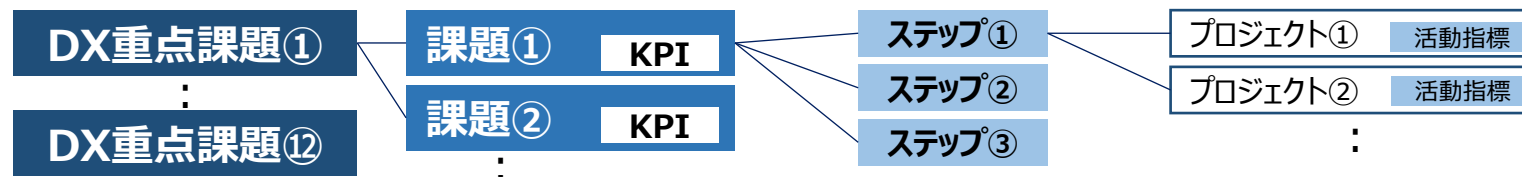
## (1) 実行計画の位置付け

本計画は、「佐世保市DX戦略」（以下、「戦略」という）の下位計画として位置付け、戦略に定める12のDX重点課題を解決するための具体的な施策を取りまとめたものです。戦略の期間中、各施策の進捗状況や、技術革新等、環境の変化を踏まえた柔軟かつ的確な事業展開を実現することを目的として、令和9年度まで毎年度更新して策定します。



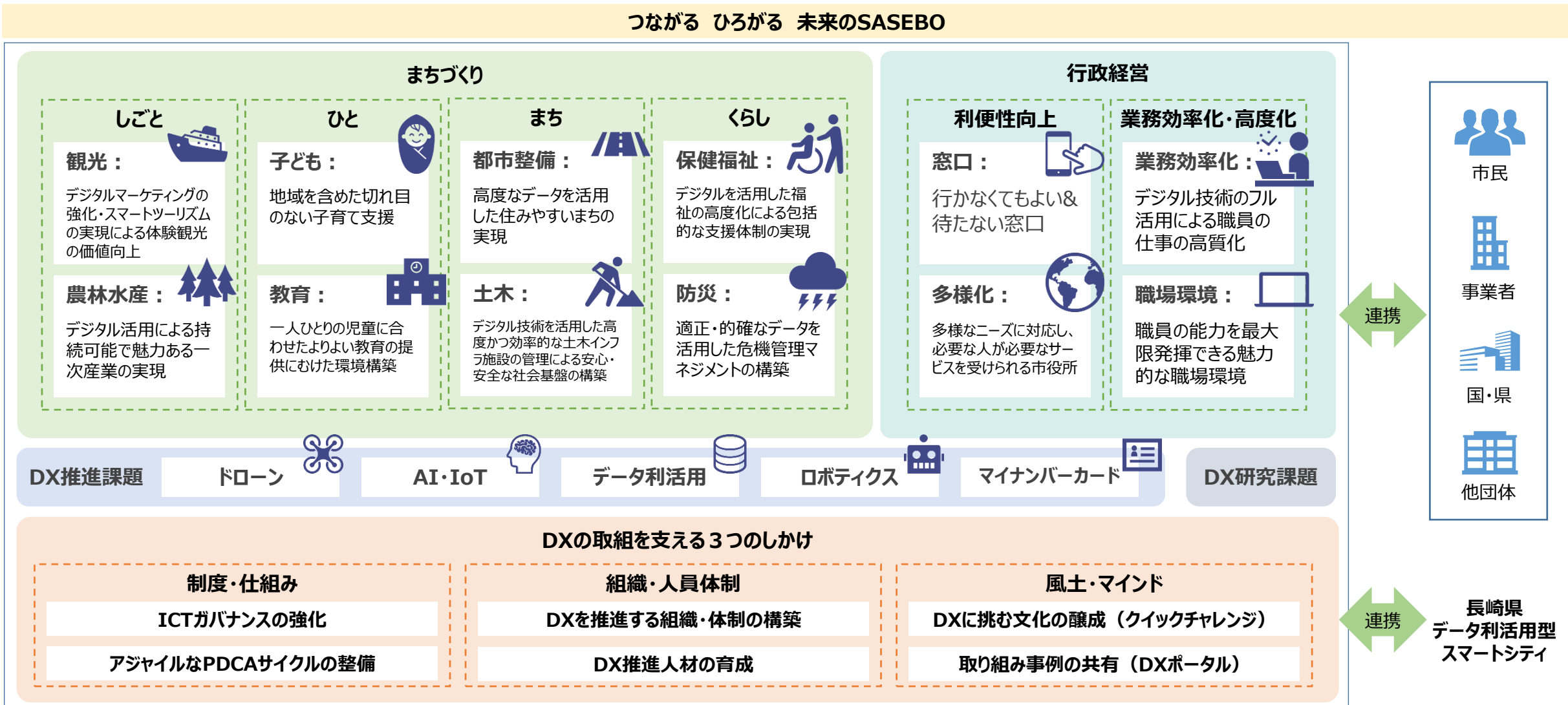
## (2) DX戦略の進捗管理

- 本計画では、DX重点課題（戦略上注力する分野と重点的に取り組む課題）ごとに2～3つの「課題」を設け、DX重点課題の達成状況を測るため、それぞれの課題ごとにKPIを設定します。
- また、それぞれの課題を解決するため、「ステップ」（課題を1～3つの段階に分割したもの）を設け、各ステップに1つ以上の「プロジェクト」（ステップの達成のために導入するシステム等）を立て、ステップの達成状況を測るため、それぞれのプロジェクトごとに「活動指標」を設定します。
- これら課題のKPIとプロジェクトの活動指標の達成状況により進捗を管理し、戦略を推進していきます。



# DX戦略の全体像

国・県の方針や最新の技術動向、本市の政策課題や地域課題、行政課題等の現状を踏まえ、市の成長や市民サービスの向上の実現に向けて、戦略上注力する分野と重点的に取り組む課題を設定しました。



課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
データ活用による戦略策定と観光力強化	1-1 政策検討に必要なデータの取得・分析						<p>■観光客に関する様々なデータを収集・分析し、潜在的観光客も含めたニーズ動向把握を行い、データに基づいた観光戦略の策定ができています。</p> <p>■観光客のニーズ等に関するデータを活用することで、観光地としての対応力を強化し、観光客満足度の高い観光地となっている。</p>
	【観光1-1-4】コンベンション協会業務デジタル化支援						
	【観光1-1-5】混雑状況可視化サービス						
	【観光1-1-6】人流データを活用した行動分析						
	【観光1-1-7】SNSデータのAI分析による観光計画						
	1-2 データに基づいた戦略の策定						
	【観光1-2-1】データ共有プラットフォーム						
	【観光1-2-2】データ分析による需要予測						
【観光1-2-3】旅行者オンライン購買データ解析による未来予測							
1-3 事業者と連携した地域の観光力強化							
【観光1-3-1】事業者等との情報共有							
デジタルプロモーションの推進	2-1 既存素材のデジタル化によるプロモーション強化						<p>■デジタル技術を活用したマーケティングやプロモーションを実施することで佐世保市の魅力をよりわかりやすく伝え、実際に現地を訪れる観光客が増加している。</p> <p>■デジタル技術等の活用により、既存の観光資源の魅力を最大化し、より楽しめる観光体験を提供できている。</p>
	【観光2-1-2】デジタルパンフレット						
	【観光2-1-3】プロモーション動画を起点とした呼び込み						
	【観光2-1-4】デジタルマップの活用						
	【観光2-1-5】各種商品券の電子化						
2-2 新たな技術を活用したプロモーションの推進							
【観光2-2-1】デジタルトラベルガイドの導入							
最適な観光ルート提示等による訪れたい佐世保市の構築	3-1 政策検討に必要なデータの取得・分析(再掲)						<p>■データを活用した観光客それぞれに合わせた観光ルートの提示などにより、まちなかを起点とした周遊観光の強化や、滞在型観光を推進することで、観光客の満足度向上だけでなく、地域経済にも貢献している。</p>
	3-a-2 メタ観光ニーズへの対応						
	【観光3-a-2-1】AIを活用したメタ観光ルートの提供						
	3-b-2 最適な移動手段情報の提供						
【観光2-b-2-1】周遊観光促進のための一元的な移動手段情報の提供							

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
担い手の確保・継続・育成			1-1 新たな担い手の参入促進 【農水1-1-1】担当者等によるオンライン相談や回答サービス 【農水1-2/3-1】デジタルを活用したコミュニティ交流の強化				<ul style="list-style-type: none"> <li>■新規参入者向けのサポートをオンライン含め充実させることで、新規参入者が不安なく、安心して農林業・漁業に取り組めている。</li> <li>■コミュニティ交流の強化により、新規参入者が地域とより繋がることで、共助の関係を構築できている。</li> </ul>
生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現			2-1 農業・漁業のスマート化推進 【農水2-a-1/2-1】農畜産業スマート化・高品質化支援事業補助金(スマート化支援) 【農水2-a-1/2-1】IoTを活用したスマート畜産 【農水2-a-1/2-3】農薬散布用ドローン等 【農水2-b-1/2-1】IoTを駆使した給餌管理 【農水2-b-1/2-2】AI活用による漁獲量向上 【農水2-b-1/2-3】データ活用による漁獲量予測 【農水2-a-3-1】生産者への情報共有のデジタル化				<ul style="list-style-type: none"> <li>■デジタル技術を活用することにより、生産性を向上させることで、収入面の安定や向上が実現できている。</li> <li>■生産物の強みを可視化し、付加価値を高め、佐世保市の農林水産業のブランド化や所得向上が実現できている。</li> </ul>
安心・安定して生産できる環境の整備			3-1 鳥獣/赤潮被害の軽減 【農水3-1-1】有害鳥獣被害防止対策 【農水3-a-1/2-2】赤潮監視対策事業				<ul style="list-style-type: none"> <li>■ICT等を活用することで、鳥獣対策や赤潮等の生産リスクが最小化された環境を実現できている。</li> </ul>



課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
児童生徒が新しい時代を生き抜く創造性や社会性を育成できる環境の構築	1-a モラル教育及びセキュリティの充実 【教育1-a-1-1】フィルタリングソフトの導入	1-b 教員の学びの知見の共有化 【教育1-b-1/2-1】学校教育ネットワーク強靱化事業		1-c 校務の効率化支援 【教育1-c-1】AIドリルの導入			<p>■1人1台端末を活用することで、学習に関する時間や距離、環境に関する制約を排除するとともに、先進技術の活用により、個々の児童生徒に合わせた学習環境が実現できている。</p> <p>■児童生徒が課題解決過程において、整備された環境を活用した深い調べ学習による、情報収集・選択・分析過程、他者やグループの協働を通じて編集し、取りまとめた成果を発表(表現)するなどの過程を通じ、創造性や社会性を育む学習が可能となっている。</p>
校務の効率化による注力すべき業務へのシフト	2-1 校務の効率化支援 【教育1-b-1/2-1】学校教育ネットワーク強靱化事業						<p>■デジタルを活用した校務の効率化により、児童生徒に対する学習指導や生活指導等、教職員が本来注力すべき業務に注力できるようになっている。</p>
保護者等とのコミュニケーション円滑化による学校・家庭協働での支援体制強化	3-1 保護者とのコミュニケーションの基盤の整備 【教育3-1-1】学校・家庭間連絡システムの導入						<p>■保護者等との連絡にデジタルを活用し、円滑かつ漏れのないコミュニケーションを実現することで、学校と保護者等との連携を強化し、学校・家庭・地域一体となった児童生徒への支援体制が構築できている。</p>

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
人流・交通量解析等による、まちのリアルタイム情報の把握	1-1 まちづくり計画に必要となる人流情報の把握 【都市1-1-1】人流データの把握	【都市1-1-4】空き家状況の把握	1-2 SNSを活用した公共施設の情報取得と解析 【都市1-2-2】SNSを活用した公園管理				<ul style="list-style-type: none"> <li>人の流れや交通量等、日々変化するまちに関する情報や現地確認などにおいて、ICT技術を活用することによりリアルタイムで正確かつ効率的に把握し、まちの姿を可視化できている。</li> <li>行政で活用できる基盤整備から始め、民間との双方向によるデータ活用を実現できている。</li> </ul>
3Dモデル等の活用による都市の見える化とデータに基づくまちづくりの立案と実践	2-1 3D都市モデルの活用 【都市2-1/2/3-1】3D都市モデル構築業務	2-2 3D都市モデル等を活用したまちづくり計画の高度化と市民へのわかりやすい情報発信 【都市2-2-1】3Dデータを活用したまちづくり計画の高度化					<ul style="list-style-type: none"> <li>取得したまちに関する情報を3Dモデルにて市民や事業者等へ提示・発信することで、都市計画・設計や防災等における、まちの情報をわかりやすく発信することができている。</li> <li>データに基づく政策展開をスタンダードにし、民間との双方向での活用や、公民連携を実践できている。</li> </ul>
データ一元化による土地利用活用関連情報の円滑な情報提供（市民サービス向上と業務効率化を両立）		3-1 土地利活用に関する情報提供システムの一元化 【都市3-1-1】データ共有プラットフォーム					<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や事業者等のニーズに即したデータ提供や窓口一元化により、サービスの質の向上が実現できている。</li> <li>データ取得する市民や事業者等に対し、関連する情報も提供するなど、データ活用を糸口にして幅広く役立つ情報が提供できている。</li> </ul>

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディかつ効率的なインフラ情報の把握	1-a-1ドローンの3D測量等多目的活用の実施 【土木1-a-1】ドローンの多目的活用の推進	1-b-1モニタリングによる道路・河川等の情報把握及びICTを活用した情報収集 【土木1-b-1】道路冠水状況モニタリングシステム					<ul style="list-style-type: none"> <li>■ドローンを多目的に活用(空撮・3D測量等)し、i-Constructionを推進している。</li> <li>■IoTを活用した道路・河川等のモニタリングや、ウェアラブルカメラによる双方向通信により、インフラ情報のスピーディな把握が実現できている。</li> <li>■ICT機器の活用により、インフラ施設の情報分析のための情報収集が、効率的に実現できている。</li> </ul>
AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化	2-1 モニタリングやICT等により収集したインフラ情報のAI技術等による分析 【土木2-1-2】道路パトロールデータのAI分析	【土木2-1-3】WEBアプリケーション等を活用した市民による道路損傷通報			【土木2-1-1】冠水・浸水予測システム		<ul style="list-style-type: none"> <li>■道路・河川等のモニタリングにより、緊急時の対応の迅速化が実現できている。</li> <li>■インフラ情報をAI技術等により分析を行い、冠水・浸水の未然防止及び予防保全の高度化並びに渋滞対策や改良箇所の抽出などが実現できている。</li> </ul>
インフラ情報のリアルタイム発信		3-1市民へのインフラ情報のリアルタイム発信 【土木3-1】ホームページ等による情報のリアルタイム発信					<ul style="list-style-type: none"> <li>■IoTの活用により取得した道路・河川等のモニタリングデータをホームページなどにより、市民に対してリアルタイム発信(公開)が実現できている。</li> </ul>

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
<p>気軽に相談できる窓口の構築</p>		<p>1-a-1 福祉関係の手続き・相談等のオンライン化による市民サービスの向上</p> <p>【保福1-a-1-3】オンライン相談</p> <p>1-a-2 福祉に関する情報発信の強化</p> <p>【保福1-a-2-2】ナッジ理論を活用した検診の推奨</p>	<p>1-b-1/2 気軽に相談できる窓口の実現にむけた運用面の整理</p>	<p>1-3 気軽に相談できる窓口の実現 (DX活用による連携強化)</p>			<p>■手続きや相談のオンライン化及びプッシュ型通知等による情報発信の強化により、市民サービスの向上が実現できている。</p> <p>■DXを活用した連携強化により、重層化・複雑化する市民のさまざまな問題を解決できる。</p>
<p>多様な担い手との連携による市民一人ひとりの状況に合わせた包括的支援</p>		<p>2-b-1 包括的支援の実現の担い手である職員負担の軽減</p> <p>【保福2-b-1-2】電子審査会の推進</p>	<p>2-b-1 先進技術の導入による職員負担の軽減</p>	<p>【保福2-b-2-2】AI・OCR、RPAを活用した事務作業の簡素化</p>	<p>【保福2-b-1-1】訪問調査におけるタブレット活用</p>	<p>2-b-2 AIを活用した市民サービスの推進</p>	<p>■先進技術の積極的な活用により、職員の業務効率化を図り、包括的支援が実現できている。</p> <p>■包括的な支援体制の構築に向け、関連する情報を集約し、地域で共有することで、重層化・複雑化する市民ニーズへの対応が強化されている。</p>
		<p>2-3 市民一人ひとりの状況に合わせた包括的支援の実現</p>					

【R8】

重点課題の進捗状況

凡例: 実施済 当年度実施 今後予定 検討

01 <<まちづくり>>

08【防災危機管理】適正・的確なデータを活用した危機管理マネジメントの構築

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
<p>関連情報のリアルタイムな把握と一元管理</p>	<p>1-1 災害対応に必要なデータの取得・分析</p>	<p>【防災1-1-1】災害情報共有システム導入</p> <p>【防災1-1-2】対災害SNS情報の取得・分析</p>	<p>1-2 データ分析に基づく防災計画などの策定</p>		<p>【防災1-2-1】3Dデータを活用した防災の周知</p>		<p>■災害対応に必要なデータをリアルタイムに取得・分析し、迅速な危機管理対応ができる。</p> <p>■有事における対応計画が一元化された情報により作成できるようになる。</p>
<p>市民一人ひとりに合わせたタイムリーな情報発信</p>		<p>2-2 旅行者、外国人向けの防災情報の発信</p>		<p>【防災2-2-1】旅行者向けの災害情報アプリケーションによる発信</p> <p>【防災2-2-2】ポータルサイトでの外国人向け情報発信</p>			<p>■災害による被害軽減にむけて、市民一人ひとりに合わせたタイムリーかつ「伝わる」防災情報の発信ができています。</p> <p>■高齢者や外国人等も含め、多様な市民へも対応できる情報発信ができています。</p>

【R8】

重点課題の進捗状況

凡例: 実施済 ▶ 当年度実施 ▶ 今後予定 ▶ 検討

02<<行政経営>>

01【窓口】行かなくてもよい&待たない窓口

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
市役所に行かなくてもできる手続きの拡大	1-1 申請のオンライン化						<p>■窓口に行く時間がない、行くことが困難といった市民・事業者は対面性を必要としない、全ての手続きをオンラインで行うことができ、窓口には行かなくてもよい。</p>
	【窓口1-1-1】全庁的な手続きオンライン化の推進						
	【窓口1-1-2】自治体オンライン化推進事業						
	【窓口1-1-3】クルーズ船入港予約システム						
			【窓口1-1-4】学校体育館等における施設予約システム・スマートロックの導入				
			1-2 電子申請における事務処理の効率化				
			【窓口1-2-1】電子申請と庁内システムの連携				
書かない/待たない窓口の実現					2-1 窓口での手続きに要する時間の削減		<p>■対面性が必要とされ窓口に行かなくてはならない手続き、窓口で支援を受けたい手続きについては、待合スペースでの申請入力や、来庁者の分散化により最小限の待ち時間でサービスを受けることができる。</p>
					【窓口2-1-1】書かない窓口の導入		
			2-3 プッシュ型手続きの実現				
			【窓口2-3-1】LINEによる一人ひとりに合った情報提供				
相談チャネルの拡充	3-a-1 オンライン相談の拡大						<p>■市民・事業者は各種相談についても市役所に行かなくても、いつでもどこでもサービスを受けることができる。</p>
	【窓口3-a-1-1】オンライン相談の拡大						
	3-b-1 相談に係る待ち時間の削減						
			【窓口3-b-1-1】相談窓口予約				

【R8】

重点課題の進捗状況

凡例: 実施済 当年度実施 今後予定 検討

02<<行政経営>>

02【多様化】多様なサービスをもれなく受けられる市役所

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
支払のキャッシュレス対応	1-1 財務会計システム納付書のキャッシュレス化						<p>■市民・事業者は、行政サービスにおける各種支払いについてキャッシュレス(クレジットカード、電子マネー等)を選択することができる。</p>
	【多様化1-1-1】財務会計システムの納付書に対するキャッシュレス導入						
	1-2 窓口(レジ)のキャッシュレス化						
	【多様化1-2-1】窓口(レジ)のキャッシュレス導入						
デジタルデバインド対応	2-a-1 デジタルデバインド対応						<p>■市民・事業者は、窓口対応や市からの行政サービスの提供において年齢や障がい・言語を問わず、DXのメリットを享受することができる。</p> <p>■市民・事業者は地域を問わず、デジタルを活用することができる。</p>
	【多様化2-a-1-1】高齢者・障がい者へのデジタル活用支援						
	2-b-1 情報発信の多言語対応						
	【多様化2-b-1-1】広報の多言語対応拡張						
情報発信の最適化	3-1 情報発信のデジタル化						<p>■市民・事業者は、市役所が発信する様々な情報を、必要な時に、広報紙やホームページ、各種SNSといった最適な手段で取得することができる。</p> <p>■市民・事業者は動画によりわかりやすい情報を得ることができる。</p>
	【多様化3-1-1】広報紙のデジタル化						
	【多様化3-1-2】LINEサービスの拡張						
	3-2 利用者のニーズに合わせた情報発信の最適化						
	【多様化3-2-1】ホームページのリニューアル						

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像
市民・事業者の意見の効果的な活用				1-1市民の声収集・活用の活性化 【業務効率化1-1-1】広聴制度の見直し			■市民・事業者からの声を、デジタルを活用することで広く収集し、効果的に施策に反映できるようになる。
事務作業の削減・省力化		2-a-1 デジタルツール活用による業務の自動化 【業務効率化2-a-1-1】RPAの導入と活用 【業務効率化2-a-1-2】AI-OCRの導入と活用 【業務効率化2-a-1-3】ローコードツールの活用 【業務効率化2-a-1-4】文字起こしAIによる議事録の自動化 【業務効率化2-a-1-5】業務手順書作成によるBPRの推進					■事務作業は可能な限りAIやロボットにより自動化され、職員の業務から削減される。 ■デジタルツールにより決裁等の時間や手間のかかる業務をサポートすることで、職員はよりスピーディに業務を遂行することができる。
様々なデータを活用した業務の高度化		2-b-1 内部事務のデジタル化 【業務効率化2-b-1-1】電子決裁・文書管理システム 【業務効率化2-b-1-2】庶務事務システム					
		3-1 データ利活用環境の整備 【業務効率化3-1-1】BIツール等を用いたデータの見える化 【業務効率化3-1-2】地理情報システム管理事業 【業務効率化3-1-3】データ共有プラットフォーム					■庁内の様々なデータを利活用し、課題解決や業務に活かすことにより、職員の業務は更に高度化することができる。
		3-2 庁内情報管理の高度化 【業務効率化3-2-1】AI等先進技術の活用研究 【業務効率化3-2-2】庁内情報の整理と配置の見直し					

課題	R4	R5	R6	R7	R8	R9	到達像	
時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	1-a-1	リモートワークに適したネットワーク・パソコン環境の検討と実証					<ul style="list-style-type: none"> <li>■職員は自身の働き方や業務内容に応じて、働く場所を選択することができる。</li> <li>■職員は庁内においても場所にとらわれず効率的に業務を遂行することができる。</li> <li>■市民や事業者とも対面にとらわれず、効率的に情報発信やコミュニケーションをとることができる。</li> <li>■アイデア創出のための組織横断的なコラボレーションができる。</li> <li>■自治体情報システムやICTインフラはより効率的かつ利便性の高いものとなる。</li> </ul>	
	【職場環境1-a-1-1】スマートワーク環境整備(端末整備)※毎年度拡大							
	【職場環境1-a-1-1】スマートワーク環境整備(ネットワーク整備)							
	1-a-2	リモートワークに適した環境リプレースの推進						
	【職場1-a-2-1】PC台数、スペック、運用の見直し							
	1-b-1	オンラインコミュニケーションの環境整備・実証						
	【職場環境1-b-1-1】オンライン共有環境や運用の見直しと拡大							
	【職場環境1-b-1-2】研修・説明会・視察のオンライン化							
	1-b-2情報共有環境の見直し							
	【職場環境1-b-2-2】スマートワークの環境整備(クラウド環境)							
	1-b-3印刷環境の見直し							
	【職場環境1-b-3-1】複合機・プリンタ配置見直し							
	1-c-1	スマートワークに向けた働き方に関する課題の棚卸・見直し						
	【職場環境1-c-1-1】スマートワークに向けた働き方に関する課題の棚卸調査							
1-c-2	スマートワークに適した働き方の見直し							
【職場環境1-c-2-1】働き方見直し検討								
1-d-1	強靱で利便性の高いセキュリティ対策実施							
【職場環境1-d-1-1】強靱で利便性の高いセキュリティ対策の実施								
自治体情報システムの標準化	2-2-1 基幹システム標準化対応					<ul style="list-style-type: none"> <li>■国の指針に則り、自治体情報システムは標準化・共通化されている。</li> </ul>		
【職場環境2-2-1】基幹システムの標準化								

R8年度の目標(総括)	
<p>データ活用による戦略策定と観光力強化を図るため、引き続き市内事業者向けにマーケティングレポートを公開すると共に、活用方法等についてセミナーを行うことで、市内事業者の活用の推進を図る。</p> <p>また、佐世保市の観光施策においても、人流データ、WEB検索データ等を活用し、根拠に基づいた効果的な事業推進を図る。観光プロモーションにおいては、幅広い年代に情報を発信すべく、SNSの活用やXRを活用した施設紹介を行うことでデジタル社会に対応した効率的な情報発信に努める。</p> <p>佐世保市における最適化ルート情報発信については、ゼンリン等と連携しながらMaaSアプリ「STLOCAL」の内容の充実化と利用促進を図ることでスマートツーリズム実現を図る。</p>	

R8年度の事業総括	
-----------	--

目標	
----	--

1	<p>データ活用による戦略策定と観光力強化</p>	<p>マーケティングレポートの内容を定期的に見直しを図ることで、市内事業者等が活用しやすい内容へ変えていく。短期だけではなく中長期の分析を行うことで、厚みのある調査分析に繋げると共に、市内事業者に対しセミナー等を開催することで、マーケティングレポートの活用を促していく。</p>
2	<p>デジタルプロモーションの推進</p>	<p>これまで、文化財課と連携して近代化遺産を中心にVR等の導入を進めてきた。今後は日本遺産関連資産やコンテンツツーリズムなどと連携したXRの事業の検討を行う。</p>
3	<p>最適な観光ルート提示等による訪れたい佐世保市の構築</p>	<p>令和7年度にSTLOCALへ掲載したモデルコースやおすすめの観光モデルについて、令和8年度も引き続き情報更新および新規記事の作成を行う。</p> <p>今後は、佐世保観光マイスターだけではなく、市内学生等にも取り組みを広めることで、若年層をターゲットとした情報発信を強化していく。</p>

R8年度の目標(総括)

【農業】スマート機器導入においては、農作業の省力化およびより効率的な農業の推進を図るため、事業活用の周知に努め、農業のスマート化推進を図る。  
 【監視装置】テレメータによる赤潮の早期検知システムを継続して運用し、安心安定して生産できる環境整備を引き続き行う。

R8年度の事業総括

目標

1	担い手の確保・継続・育成	<p>【農業】                  就農相談は電話や対面での対応が基本だが、新規就農者や農業参入企業のニーズに合わせて、WEB会議によるオンライン相談を引き続き実施する。</p>
2	生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現	<p>【漁業】                  ・水産DXに関連する最新機器類、他市の取組事例等の情報収集を引き続き行い、適宜漁協及び漁業者へ周知を図ることで、漁業者のIoT等の活用について進めていく。同時に会議などで漁協等から聞き取りを行い、ニーズの模索を継続する。                  ※これまでの事業進捗状況を踏まえると、水産DXについては漁業者の関心度にバラつきがあり、漁法によって活用できるものが限定されることから、対象となりそうな【漁協及び漁業者】と【水産DX関連企業】の間に市が入り、漁業者のIoT等の活用推進を引続き行う。</p>
3	安心・安定して生産できる環境の整備	<p>【鳥獣】                  高専で開発したデバイスを現地で検証し、有害鳥獣捕獲に有効という検証結果が出れば、現地使用及び継続検証を引き続き実施する。</p>

R8年度の目標(総括)

○「子育てに関する手続きや相談」・「窓口対応」・「情報発信」等に関し、DXコーディネータとの協議結果を踏まえ、最適な手段・対応を検討する。

R8年度の事業総括

目標

オンライン申請のさらなる活用で、効率化を目指す。  
オンライン申請率の向上に向けて検討する。

1  
簡単で便利な手続きによる抜け漏れのない支援の実現

①オンライン申請の更なる活用で、効率化を目指す。  
②子育て支援の実現に向けた必要なデータの整理や取得方法・関連する規制等については、専門的な知識・ノウハウも必要であり検討していきたい。

2  
地域一体での子育て支援の実現に向けた先進技術やデータ利活用による支援強化

R8年度の目標(総括)

3D都市モデル上に整備したデータを重畳し、公表を進め、民間利用を促すとともに、行政内部における3D都市モデルの幅広い利活用を図る。

R8年度の事業総括

目標

1	<p>人流・交通量解析等による、まちのリアルタイム情報の把握</p>	<p>R6までに取得したGPSデータやAIカメラで取得した人流データを活用しながら策定した夜店公園の整備計画に基づき、設計及び改修(まちなかウォークアブル推進事業)に取り組む。</p> <p>なお、R7、8年度においては、夜店公園の改修期間となることから、GPSデータやAIカメラによる人流データ取得は行わない。</p>
2	<p>3Dモデル等の活用による都市の見える化とデータに基づくまちづくりの立案と実践</p>	<p>各種施策における課題解決に向けて、構築した3D都市モデルの利活用の庁内展開を引き続き図る。</p>
3	<p>データ一元化による土地利用活用関連情報の円滑な情報提供(市民サービス向上と業務効率化を両立)</p>	<p>国土交通省WEBサイト「PLATEAU View App」で都市計画関連情報を一元化しており、これを活用した窓口対応を行う。また、これらの情報を公表していることを周知し、窓口対応の負担軽減を図る。</p>

R8年度の目標(総括)

「インフラ情報のスピーディーかつ効率的な把握」として、ドローンによる3D測量等や道路モニタリングの運用を行いながら、機器設置箇所や設定値の妥当性を精査し、より精度の高い情報収集及び提供に努める。また、収集したデータを基にAI技術等を活用したインフラ情報の分析や管理の高度化について引き続き研究を行う。

R8年度の事業総括

目標

<p>1</p> <p>ドローン・IoT・ICTを活用したスピーディーかつ効率的なインフラ情報の把握</p>	<p>ドローンによる3D測量等の多目的活用を推進するとともに、冠水状況の道路モニタリングや河川モニタリングを行うことで、インフラ情報のスピーディーかつ効率的な把握を行う。</p>
<p>2</p> <p>AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化</p>	<p>道路パトロールデータのAI分析を実施する。また、冠水浸水予測システムは、引き続きモニタリングによりデータ蓄積を進め、職員による冠水予測を行うとともに、令和7年度から開始した官民共同研究による予測システム構築の可能性を検証する。</p>
<p>3</p> <p>インフラ情報のリアルタイム発信</p>	<p>道路及び河川モニタリングのデータについて、リアルタイム情報発信を継続するとともに、市民への正確な情報発信のため、情報の精度向上を図る。また、より多くの市民に活用してもらえるようシステムの広報・普及に努める。</p>

R8年度の目標(総括)	
<p>オンライン対応手続きの拡大やオンライン対応については、今後も周知を行うとともに、再度業務の洗い出しを行うなど対応可能な業務の拡大により、市民目線のあるべき窓口の構築を目指す。                  包括的支援(重層的支援体制整備事業)の実現に向けて、スマートプロジェクト(RPAやAI-OCR等)の利用拡大を更に推進し、業務の効率化、職員の負担軽減を図っていく。</p>	

R8年度の事業総括	
目標	

1	<p>気軽に相談できる窓口の構築</p>	<p>オンライン申請が進まない要因について、分析するとともに、引き続きオンライン申請実施計画に基づき、オンライン対応手続きの拡大を図り、周知を行うとともに、再度業務の洗い出しを行うなど対応可能な業務の拡大に努め、市民サービスの向上を目指す。</p>
2	<p>多様な担い手との連携による市民一人ひとりの状況に合わせた包括的支援</p>	<p>包括的支援(重層的支援体制整備事業)の実現に向けて、スマートプロジェクト(RPAやAI-OCR等)の利用拡大をさらに推進し、業務の効率化、職員の負担軽減を図る取組みを推進する。</p>

R8年度の目標(総括)

災害情報共有システムを使用し、災害対応時の情報収集や関連情報の一元把握することで、迅速な意思決定や応急対策を実施し、市民にも防災情報をタイムリーに配信する。  
また、市民の防災意識向上のため、浸水深などをよりリアルに感じられる3Dデータを活用した啓発を実施していく。

R8年度の事業総括

目標

・災害対応時にシステムを使用して気象・防災情報や被害情報など必要なデータの収集・分析を行い、迅速な意思決定や応急対策を実施する。

1

関連情報のリアルタイムな把握と一元管理

2

市民一人ひとりに合わせたタイムリーな情報発信

災害情報共有システムを使用した一括配信により、システム整備とあわせて構築する市民ポータルサイトやSNS、民間の防災アプリ等で避難情報等を迅速に多くの人に配信する。

R8年度の目標(総括)

オンラインで完結できる行政手続きや各種施設の予約、オンライン相談の対応手続き拡充と利便性向上により、行政サービスをいつでも・どこでも受けられる環境を整備する。  
 また、対面での申請が必要な手続きやオンライン申請が難しい市民には、窓口予約対応手続き拡充および、新たに導入する「書かない・待たない窓口」により書類記入を最小限にすることで、待ち時間の短縮や書類への窓口での負担を軽減する。  
 これらの取り組みにより、オンラインと対面の両方の手段を適切に活用し、市民の利便性を高めるとともに、業務の効率化を推進し、行政サービスの提供をより効果的に行う。

R8年度の事業総括

目標

1	市役所に行かなくてもできる手続きの拡大	引き続き、オンラインでできる行政手続きを拡大するとともに、利用を促す広報活動・導線改善等を行うことで利用促進を進めていく。
2	書かない／待たない窓口の実現	住民記録システム標準化が延伸したことにより、本業務も令和8年度に導入を行う。 次年度以降に予定している他課や支所・行政センター等へのシステムの導入拡大検討のため、稼働実績のモニタリングや効果的なBPRを行う。
3	相談チャネルの拡充	既存システム(ツール)によるオンライン相談については、周知を行うとともに、改めて適応できる業務を洗い出すなどして対応可能な業務の拡大を目指す。

R8年度の目標(総括)

引き続き個別システムから出力する納付書や小規模現金取り扱い窓口のキャッシュレス化を推進し、市民アンケートの結果を活用して窓口キャッシュレス決済の認知度向上に向けた広報活動に力を入れていく。  
 高齢者や障がい者等のデジタルデバインド対応として、講習会の内容を改善しつつ継続実施し、デジタル技術の利便性を広く伝える。  
 コミュニティセンターに整備したWi-Fi環境を最大限活用し、地域住民がデジタル技術を学び、活用できるソフト事業の充実と積極的な取り組みを継続して推進する。  
 また、SNS広報による現状や課題を分析することで、情報発信の最適化を図る。

R8年度の事業総括

目標

1	支払いのキャッシュレス対応	個別システムから出力する納付書や小規模現金取り扱い窓口(指定管理者を含む)のキャッシュレス化について引き続き対応を検討するとともに、令和6年度に引き続き、市民アンケートの結果をもとに窓口キャッシュレス決済の認知度向上のための広報活動に力を入れるとともに、さらなる利用率の向上に向けて他の対策も併せて検討していく。
2	デジタルデバインド対応	コミュニティセンターにおいては、令和4年度整備のWi-Fi環境の利用を推進し、社会ニーズも視野に入れたソフト事業の充実と積極的な取り組みを継続して推進する。
3	情報発信の最適化	現在行っているSNS広報による現状や課題を分析し、最適化を図り、情報発信力強化を目指す。

R8年度の目標(総括)

広聴システムや車座集会等で寄せられた市民・事業者からの声や意見を施策へ反映させるため、行政経営サイクルの流れに取り入れる仕組みづくりを行う。  
AI-OCR・RPAについては、各課で作成・処理できるよう他市の事例等を活用しながら庁内構築を検討し、さらなる効率化を図る。  
また、職員がBIツール等を活用してデータを効果的に利活用できるよう、職員の意識向上と育成に取り組む。

R8年度の事業総括

目標

1	市民・事業者の意見の効果的な活用	広聴システムや車座集会等で寄せられた市民・事業者からの声や意見を施策へ反映させるため、行政経営サイクルの流れに取り入れる仕組みづくりを行う。
2	事務作業の削減・省力化	AI-OCR帳票設定を各課にて処理できるよう他市の事例等を活用しながら庁内構築を行い、さらに効率化を図る。 RPAについても引き続き、庁内の効率化を図る為利用拡大に努めていくと同時にAI-OCR同様、各課で作成できるような庁内構築を検討していく。
3	様々なデータを活用した業務の高度化	長崎県デジタル人材との検討結果に基づき、職員がBIツール等を活用してデータを効果的に利活用できるよう、職員の意識向上と育成に取り組む。

R8年度の目標(総括)

令和7年度にスマートワーク環境を実現するためのネットワークの構築・モバイル端末の全庁導入が完了するため、同環境を安定的に運用していく。プリンタについては配備見直しを進める。  
システム標準化については、戸籍及び戸籍附票を除く他の業務システムも含め、令和8年度での移行に向け取り組みを進める。

R8年度の事業総括

目標

スマートワーク環境の安定的に運用し、プリンタの配備見直しを進める。

1 時間・場所にとらわれな  
いスマートワーク環境

総合行政システム(住民記録・税業務等)の移行延伸に伴い、戸籍及び戸籍附票を除く他の業務システムも含め、令和8年度での移行に向け取り組みを進める。

2 自治体情報システムの  
標準・共通化

	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価	
1	データを活用した事業立案数	予定			5	6	7	8	8	事業提案の際には事前に市場調査等を行いデータに基づく展開を行うこととしている。新規事業の提案数として5件程度とした。R6以降は1件ずつ増加させ、年8件を目指す。	次年度新規事業実施に向け課題やニーズの確認、ターゲット設定の根拠データとして活用している。今年度実施事業の成果計測としても各種データを活用し事業効果を確認する。	
		実績			7	7						
	民間事業者へのオープンデータ提示数	予定			3	5	7	7	7	宿泊施設をはじめとする観光関連事業者に対し、市が提供する観光関連データ分析結果のダッシュボード数 ※ R5は、人流データに関する旅行者動向に関するダッシュボードを3種類から始める ※ 発地、属性、季節性などを想定	マーケティングレポートを市内事業者等へ引き続き公開並びに、メール配信を行い、同レポートの周知に努めている。また、事業者へヒアリングを行うことで定期的にレポートの内容を見直している。今後も市内事業者の活用を推進するために、ヒアリングを継続していく。	
		実績			13	13						
2	デジタルプロモーションの推進	デジタル化されたプロモーション件数	予定	10	15	20	20	20	20	SNSを利用したプロモーションは現在も10本程度実施しており、今後はターゲットを細かく設定して件数を伸ばす。	市内イベントや着地型ツアー、飲食店情報などをSNSを活用してプロモーションを行っており、引き続き、ターゲットに応じた情報発信を行う。	
		実績	10	16	20	25						
3	最適な観光ルート提示等による訪れたい佐世保市の構築	観光ルートのアクセス数/利用者数	予定	25,000	27,500	30,000	33,000	176,000	184,000	193,000	令和5年度のモデルコースのサイト閲覧数が令和4年と比較し5%増であったため、令和7年度から令和6年見込みの毎年5%増を見込む。	令和7年度は観光マイスターのほか、地元の学生等にもモデルコース作成に取り組んでもらうことで、若年層向けの情報発信の強化に繋げる。
			実績	55,584	151,246	160,116	151,507					

【R8】

重点課題 KPI の評価

01「まちづくり」

02【農林水産】デジタル活用による持続可能で魅力ある一次産業の実現

1	担い手の確保・継続・育成	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		新規就農などオンライン・デジタルによる相談対応率	予定					100%	100%	100%		
	実績					100%						

2	生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		IoT等を活用した農家数	予定	5	18	28	44	62	82	102		
			実績	5	18	22	32					
		IoTを活用した漁業者数	予定			30	40	40	40	40	漁協聞き取り	令和7年度DX推進本部審議結果を踏まえ、県内十三市水産主管者会議の本市提案議題の一つとして、各市の水産DXへの取り組み事例について照会し、調査を行っている。
実績				0	0							

3	安心・安定して生産できる環境の整備	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価	
		IoTを活用した鳥獣検知箇所数	予定						3	3			3
			実績										
		IoTを活用した赤潮検知箇所数	予定		1	1	3	3	3	3	設置予定台数から算出	当初3基設置予定だったが、漁協が国の補正事業を活用することで、合計4基設置した。	
実績			1	1	3								

1	簡単で便利な手続による抜け漏れのない支援の実現	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		オンライン対応手続き数	予定	16	77	90	90	95	95	95	オンライン対応可能な手続き調査(オンライン申請実施計画)に基づき設定	引き続き現在の実施体制を継続する。
	実績	19	84	95	100							
	オンライン申請利用率	予定	10.0%	20.0%	30.0%	35.0%	40.0%	45.0%	50.0%	オンラインでの手続き件数/手続き総件数(佐世保市オンライン申請システムのみ)	引き続き現在の実施体制を継続する。	
		実績	33.4%	24.0%	46.2%	50.4%						
	プッシュ型通知登録数	予定	50.0%	53.0%	57.0%	60.0%	90.0%	90.0%	90.0%	R6まで させぼっ子ナビ新規登録者数(年度ごと)/母子健康手帳新規交付者数(年度ごと) R7以降 させぼっ子ナビ新規登録者数(年度ごと)/母子健康手帳新規(第一子目)交付者数(年度ごと)	引き続き現在の実施体制を継続する。	
		実績	78.0%	46.2%	45.4%	39.1%						

2	地域一体での子育て支援の実現に向けた先進技術やデータ活用による支援強化	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		オンライン対応相談窓口数	予定	1	2	3	3	3	3	3	相談に係る主要3事業におけるオンライン対応の計画的な実施(妊婦相談・訪問指導・乳児家庭全戸訪問)	引き続き現在の実施体制を継続する。
	実績	1	2	3	3							
	オンラインネットワーク連携施設数	予定			50	73	73	73	73	オンラインネットワーク構築に係る放課後児童クラブの施設数	引き続き現在の実施体制を継続する。	
		実績			73	74						

	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価	
			1	人流・交通量解析等による、まちのリアルタイム情報の把握	リアルタイムで取得する情報の利用率	予定	/	100%	100%			100%
実績	/	100%				100%	100%					
2	3Dモデル等の活用による都市の見える化とデータに基づくまちづくりの立案と実践	事業立案に利用可能な3Dデータを活用した事業数	予定	/	/	3	3	3	4	5	構築したデータを活用した事業や政策立案数を2年ごとに着実に増加させる。	計画通りの進捗が図れている。
			実績	/	/	3	3					
3	データ一元化による土地利用活用関連情報の円滑な情報提供(市民サービス向上と業務効率化を両立)	都市計画に関するオープンデータ数	予定	/	/	5	6	7	8	9	Web上で閲覧できる情報(オープンデータ)の項目数	計画通りの進捗が図れている。
			実績	/	/	5	6					

【R8】

重点課題 KPI の評価

01「まちづくり」

06【土木】デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築

1	ドローン・IoT・ICT を活用したスピーディかつ効率的なインフラ情報の把握	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		ドローン・IoT・ICT による情報把握対象の土木インフラ施設数	予定			11	26	28	30	34		
実績			11	26	28							

2	AI技術等を活用したインフラ情報の分析と管理の高度化	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		データ分析対象の土木インフラ施設数	予定			1	1	1	1	3		
実績			1	1	1							

3	インフラ情報のリアルタイム発信	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		リアルタイム発信チャンネル数	予定					2	4	6		
実績						8						

1	気軽に相談できる窓口の構築	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		オンライン対応手続き数	予定	8	186	256	256	256	256	256	256	オンライン対応可能な手続きの調査に基づき設定
		実績	15	154	251	297						
		オンライン申請利用率	予定	10%	20%	30%	35%	40%	45%	50%	オンラインでの手続き件数／手続き総件数(佐世保市オンライン申請システムのみ)	対応可能なものから順次実施し、窓口等で周知をしているものの目標値を下回っている。
			実績	5.1%	8.0%	8.7%	15%					
		オンライン対応相談窓口数	予定			15	15	15	15	15	オンライン対応窓口数	対応可能なものから順次実施している。今後も周知を行うとともに、再度業務の洗い出しを行うなど対応可能な業務の拡大に努めていく。
			実績			10	10					

2	多様な担い手との連携による市民一人ひとりの状況に合わせた包括的支援	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		AI等先進的なICTを活用する業務数	予定	85	74	80	85	90	95	100	AI、RPA等の活用により、業務効率化に取り組んだ業務数を設定	議事録AI利用実績が大きく伸び、目標を上回っている。
		実績	85	108	205	141						

【R8】

重点課題 KPI の評価

01「まちづくり」

08【防災危機管理】適正・的確なデータを活用した 危機管理マネジメントの構築

1	関連情報のリアルタイムな把握と一元管理	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		情報集約対象のシステム化率	予定			100%	100%	100%	100%	100%	100%	集約対象となる防災関連情報のシステム入力率
	実績			100%	100%							

2	市民一人ひとりに合わせたタイムリーな情報発信	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		情報発信チャンネル数	予定	10	11	11	11	11	11	11	11	市民及び旅行者、外国人向け情報発信チャンネル数
	実績	10	11	11	11							

1	市役所に行かなくてもできる手続きの拡大	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価	
		オンライン対応手続き数	予定	134	510	1,020	1,040	1,060	1,080	1,100			オンライン対応可能な手続きの調査に基づき設定
			実績	134	521	1,021	1,139						
		オンライン申請利用率	予定	10%	20%	30%	35%	40%	45%	50%			オンラインでの手続き件数／手続き総件数(佐世保市オンライン申請システムのみ)
実績	18.0%		6.6%	6.8%	9.4%								

2	書かない／待たない窓口の実現	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価		
		申請書作成支援対応手続き数	予定	/	/	/	/	/	/	7			7	下記7申請書を対象とする ・住民票の写し等交付請求書・印鑑登録証明書請求書 ・させば市民カード(印鑑登録証)等申請(届出)書・住民異動届・通知カード紛失届/個人番号カード紛失・廃止届・個人番号カード・電子証明書の暗証番号変更・初期化申請書・個人番号カード交付申請書 兼 電子証明書発行/更新申請書
			実績	/	/	/	/	/	/					
		申請書作成支援対応手続き利用率	予定	/	/	/	/	/	/	100%			100%	上記申請書はすべて利用
実績	/		/	/	/	/	/							

3	相談チャネルの拡充	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価	
		オンライン相談対応業務数	予定	/	/	19	19	19	19	19			オンライン相談ができる窓口数
			実績	/	/	14	14						
		窓口予約対応手続き数	予定	/	/	2	4	4	4	4			窓口予約対応手続き数(令和5年度より実装、順次拡大)
実績	/		/	4	11								

【R8】

重点課題 KPI の評価

02「行政経営」

02【多様化】多様なサービスをもれなく受けられる市役所

1	支払いのキャッシュレス対応	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		キャッシュレス決済利用率(財務システム)	予定	/	5%	6%	7%	8%	9%	10%		
実績	/	3.9%	4%	5.7%								
		キャッシュレス決済利用率(窓口)	予定	/	20%	25%	30%	35%	40%	45%	キャッシュレス決済利用金額／全決済金額(キャッシュレス決済対応決済手続きのみ)	引き続き広報等による周知を実施しているが、目標値を下回っている。
		実績	/	10.2%	12%	15.2%						

2	デジタルデバイス対応	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		情報発信における対応言語数	予定	4	4	4	4	243	243	243		
実績	4	4	133	249								
		デジタル活用セミナー実施回数	予定	21	27	27	27	27	27	27	市が行うデジタル活用セミナーの回数	計画以上の進捗が図れている。
		実績	30	48	45	31						

3	情報発信の最適化	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		市ホームページのアクセス数	予定	3,920,000	4,272,800	4,625,600	4,939,200	5,252,800	5,566,400	5,880,000		
実績	3,944,938	4,077,432	4,051,623	3,770,178	KPI変更							
		広報広聴アンケートの広報満足度向上	予定	/	/	/	/	/	87%	92%	広報広聴に関するWEBアンケートの調査結果	-
		実績	/	/	/	/	/					

1	市民・事業者の意見の効果的な活用	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		広聴システムでの満足度	予定	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		
実績	80.2%	83.6%	82.5%	83.0%								

2	事務作業の削減・省力化	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		RPA等による削減効果時間	予定	2,500.0	2,800.0	3,000.0	3,200.0	3,400.0	3,600.0	3,800.0		
			実績	7,055.8	5,273.2	7,089.34	7,481.53					
		電子決裁率	予定	/	100%	100%	100%	100%	100%	100%	決裁の基本ルールとして100%電子決裁とするため(例外は除く)	例年どおり、今年度も計画通りの進捗が図れている。
実績	/		100%	100%	100%							

3	様々なデータを活用した業務の高度化	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		データの見える化対応業務数	予定	/	/	6	12	18	24	30		
実績	/	/	6	16								

【R8】

重点課題 KPI の評価

02「行政経営」

04【職場環境】職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境

1	時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		オンラインコミュニケーションの利用率	予定	50.0%	55.0%	60.0%	80.0%	90.0%	100.0%	100.0%		
	実績	60.3%	84.4%	92.6%	94.4%							
		ペーパーレス度(令和3年度印刷枚数との比較)	予定	1	100.0%	85.0%	85.0%	65.0%	45.0%	30.0%	各年度のA4用紙購入枚数/令和3年度のA4用紙購入枚数	計画通りの進捗が図れている。
			実績	100.0%	95.1%	81.7%	80.8%					
2	自治体情報システムの標準・共通化	KPI		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	算出式・設定根拠	進捗状況・評価
		標準化対応業務数	予定					2	20	20		
			実績									

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																		実施年度								
						名称	名称	PID		名称	概要	項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9				
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	データ活用による戦略策定と観光力強化	政策検討に必要なデータの取得・分析	観光1-1-4	コンベンション協会業務デジタル化等事業	データ分析のためのタブレット端末やクラウド環境、モバイルルーターの整備を実施します。		業務観光整備件数				1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	データ活用による戦略策定と観光力強化	政策検討に必要なデータの取得・分析	観光1-1-6	人流データを活用した行動分析	位置情報のビッグデータをもとに、観光客の行動を分析し、観光キャンペーンやルートの立案などを実施します。	○	データマイニング件数				1	2	3	5	5	7	5		5		5		5		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒			
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	データ活用による戦略策定と観光力強化	政策検討に必要なデータの取得・分析	観光1-1-7	SNSデータのAI分析による観光計画	SNS上の観光客のリアルな声を把握・分析し、観光コンテンツの評価や計画立案を実施します。	○	データマイニング件数						3	5	5	7	5		5		5		5		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒			
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	データ活用による戦略策定と観光力強化	データに基づいた戦略の策定	観光1-2-1	データ共有プラットフォーム	観光に関する様々なデータを集約し、一元的な管理を実現します。		ダッシュボードの作成件数						6	13	12	13	18		24		30		30		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒			
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	データ活用による戦略策定と観光力強化	データに基づいた戦略の策定	観光1-2-2	データ分析による需要予測	データ共有プラットフォーム上のデータを分析し、観光に関する需要予測を実現します。		データ活用による事業立案数						5	5	6	7	7		8		8		8		…	○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	データ活用による戦略策定と観光力強化	事業者と連携した地域の観光力強化	観光1-3-1	事業者等との情報共有(データ共有プラットフォームと同様)	データ共有プラットフォーム上にデータ連携機能を設けることで、事業者との情報共有を実現します。		民間事業者へのオープンデータ提示数						3	5	5	12	7		7		7		7		…	○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	デジタルプロモーションの推進	既存素材のデジタル化によるプロモーション強化	観光2-1-2	デジタルパンフレット	スマホやタブレットを活用した観光情報の収集ニーズに対応し、デジタルパンフレットの制作を実施します。		閲覧回数							1,850	-	8,870	-	10,600	444	12,800		15,400		18,500		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	デジタルプロモーションの推進	既存素材のデジタル化によるプロモーション強化	観光2-1-3	プロモーション動画を起点とした呼び込み	プロモーション動画を広告配信し、ホームページに誘導することで、観光地としての認知の向上を図ります。		ホームページへの遷移数(/年)							3,920	150	4,273	702	4,626	2,088	4,939	1,379	5,253		5,566		5,880		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																				
						名称	名称	PID		名称	概要	項目	実施年度																	
													R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	デジタルプロモーションの推進	既存素材のデジタル化によるプロモーション強化	観光2-1-4	デジタルマップの活用	観光マップをデジタル化することで、観光客が現在地や観光スポットをスマホで確認しながら周遊することを実現します。	○	観光ルートのアクセス/利用者数	25,000	55,584	27,500	151,246	30,000	160,116	33,000	151,507	176,000		184,000		193,000		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	デジタルプロモーションの推進	既存素材のデジタル化によるプロモーション強化	観光2-1-5	各種商品券の電子化	各種商品券を電子で発行することにより発行・管理業務の負荷やコストを軽減しながら、加盟店や利用者の拡大を実現します。		アプリダウンロード数					15,000	46,061	19,500	58,219	25,400		33,000		42,900		…	○	⇒	⇒	⇒	⇒
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	最適な観光ルート提示等による訪れたい佐世保市の構築	メタ観光ニーズへの対応	観光3-a-2-1	AIを活用したメタ観光ルートの提供	AIの活用により、観光客の嗜好や希望条件に合わせた観光プランを提供し、多層的な観光体験(メタ観光)の提供を実現します。	○	モデルコースデータベース							30	32	60		90		90		…	…	○	⇒	⇒	⇒
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	最適な観光ルート提示等による訪れたい佐世保市の構築	周遊観光の促進・最適な移動手段情報の提供	観光3-b-2-1	周遊観光促進のための一元的な移動手段情報の提供	位置情報から目的地までの最適なルートを導出し、各種交通・観光チケットの購入、決済までをスマホアプリ上でシームレスに実施できる環境を実現します。		モデルコースデータベース							30	32	60		90		90		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
まちづくり	観光	観光商工部	デジタルマーケティングの強化・スマートツーリズムの実現による体験観光の価値向上	データ活用による戦略策定と観光力強化	政策検討に必要なデータの取得・分析	観光1-2-3	旅行者オンライン購買データ解析による未来予測	プロモーション実施後、実際に着地に至ったかの検証を実施。基礎的データとしてオンラインでの宿泊予約状況、フライト予約情報などの推測値をもとに先行指標の計測も実施する。		データマイニング件数							1	1	3		5		7				○	⇒	⇒	⇒
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能な魅力ある一次産業の実現	生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現	スマート農林業の促進	農水2-a-1/2-1	IoTを活用したスマート畜産	牛の発情兆候をIoTセンサーでスマート化し、生産者グループまた関係機関でデータ共有し生産性の向上を図ります。		活用率							2	0	4		6		9		…	…	○	⇒	⇒	⇒
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能な魅力ある一次産業の実現	生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現	スマート農林業の促進	農水2-a-1/2-2	農畜産業スマート化・高品質化支援事業補助金(スマート化支援)	IoT機器により生育のコントロールを行うことで適切な生育環境を作り出し単収の向上を図ります。		IoTを活用した農家数	5	5	18	18	28	22	44	32	62		82		102		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能な魅力ある一次産業の実現	生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現	スマート水産業の促進	農水2-b-1/2-1	IoTを駆使した給餌管理	IoTを活用し、遠隔から水槽の水温等の管理や給餌量の確認、異常の検知を実施します。		活用拠点数					1	3	3	3	3		9		12			○	⇒	⇒	⇒	⇒
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能な魅力ある一次産業の実現	生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現	スマート水産業の促進	農水2-b-1/2-2	AI活用による漁獲量向上	ベテラン漁業者の経験や技術、勘をデータ化し、蓄積・活用することで、常に最適な漁場に関する情報提供を実現します。		活用拠点数					3	0	3	0	3		3		3		…	○	⇒	⇒	⇒	⇒
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能な魅力ある一次産業の実現	生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現	スマート水産業の促進	農水2-b-1/2-3	データ活用による漁獲量予測	海洋データや気象データ等を一元的に集約・活用することで、常に最適な漁場に関する情報提供が可能になり、漁獲高等の事前予測を行います。		活用拠点数					3	0	3	0	3		3		3		…	○	⇒	⇒	⇒	⇒
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能な魅力ある一次産業の実現	生産性・付加価値の高い農林業・漁業の実現	新たな販路の拡大	農水2-b-1/2-2	オンラインによる直売	オンライン上で生産者が農水産物を消費者に直接販売できるサービスを実現します。		参加者数							14	15	15		16		17				○	⇒	⇒	⇒

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																				
						名称	名称	PID		名称	概要	項目	実施年度																	
													R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能で魅力ある一次産業の実現	安心・安定して生産できる環境の整備	鳥獣/赤潮被害の軽減	農水3-1-1	有害鳥獣被害防止対策	害獣をセンサーで検知し、基地局・中継局を通じて利用者等にメール等で通知することを実現します。	○	研究開発に係る協議回数(/年)	5	5	10	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
まちづくり	農林水産	農林水産部	デジタル活用による持続可能で魅力ある一次産業の実現	安心・安定して生産できる環境の整備	鳥獣/赤潮被害の軽減	農水3-a-1/2-2	赤潮監視対策事業	テレメーターによりセンシング及び採水を行い、AIにて分析を行うことで、赤潮発生の予兆を検知し、利用者へメールなどで通知することを実現します。	○	赤潮監視装置の拠点数	/	/	1	1	1	1	3	3	3	3	3	3	3	3	○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
まちづくり	子ども子育て	子ども未来部	地域を含めた切れ目のない子育て支援	簡単で便利な手続きによる抜け漏れのない支援の実現	子育て手続きのオンライン化による市民サービスの向上	子ども1-a-1-1	オンライン対応可能な手続き申請	オンラインで申請で実施できる申請を拡充します。		手続き数	16	19	77	84	90	95	90	100	95	95	95	95	95	95	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
まちづくり	子ども子育て	子ども未来部	地域を含めた切れ目のない子育て支援	簡単で便利な手続きによる抜け漏れのない支援の実現	子育てに関する情報発信の強化	子ども1-b-1-1	プッシュ型通知(子育て応援アプリなど)の拡充	市が保有するデータを活用し、子育て世帯向けに子育てに関する情報や必要な手続きなどをプッシュ通知でのお知らせを実施します。	○	新規登録率R7以降させほっ子ナビ新規登録者数(年度ごと)/母子健康手帳新規(第一子目)交付者数(年度ごと)	50.0%	78.0%	53.0%	46.2%	57.0%	45.4%	60.0%	39.1%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
まちづくり	子ども子育て	子ども未来部	地域を含めた切れ目のない子育て支援	簡単で便利な手続きによる抜け漏れのない支援の実現	子育てに関する手続きのワンストップ化や情報発信との連携強化	子ども1-2-1	オンライン申請利用率の向上	妊娠、出産、育児に係る申請等についてマイナポータル等を活用し、オンラインによる申請手続き率を向上します。		申請利用率	10.0%	12.1%	20.0%	14.0%	30.0%	29.9%	35.0%	50.4%	40.0%	45.0%	45.0%	45.0%	50.0%	50.0%	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
まちづくり	子ども子育て	子ども未来部	地域を含めた切れ目のない子育て支援	地域一体での子育て支援の実現に向けた先進技術やデータ活用による支援強化	新たな技術を活用した子育て支援の推進	子ども2-1-2	オンライン相談(母子健康手帳交付、訪問相談など)	母子健康手帳交付、訪問相談などの相談をオンラインで対応可能な環境を実現します。		相談対応事業数	1	1	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
まちづくり	子ども子育て	子ども未来部	地域を含めた切れ目のない子育て支援	地域一体での子育て支援の実現に向けた先進技術やデータ活用による支援強化	新たな技術を活用した子育て支援の推進	子ども2-1-3	地域子ども・子育て支援におけるオンラインネットワーク化による連携	地域の子育て関連機関とのやりとりや資料共有などオンラインで対応可能な環境を実現します。	○	連携施設数	/	/	/	/	50	73	73	74	73	73	73	73	73	73	...	○	⇒	⇒	⇒	⇒
まちづくり	教育	教育委員会	一人ひとりの児童に合わせたよりよい教育の提供にむけた環境構築	児童生徒が新しい時代を生き抜く創造性や社会性を育成できる環境の構築	モラル教育及びセキュリティの充実	教育1-a-1-1	フィルタリングソフトの導入	児童生徒をインターネットトラブルや有害サイトから守り、安心してITを利用できる環境を実現します。		ソフト導入率	/	/	/	/	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																		実施年度								
						名称	名称	PID		名称	概要	項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9				
まちづくり	教育	教育委員会	一人ひとりの児童に合わせたよりよい教育の提供にむけた環境構築	児童生徒が新しい時代を生き抜く創造性や社会性を育成できる環境の構築	教員の学びの知見の共有化	教育1-b-1/2-1	学校教育ネットワーク強靱化事業	通信環境の強化により、児童生徒が快適にITを利用できる環境を実現します。	ハード・ソフト導入率			100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒									
まちづくり	教育	教育委員会	一人ひとりの児童に合わせたよりよい教育の提供にむけた環境構築	児童生徒が新しい時代を生き抜く創造性や社会性を育成できる環境の構築	個別に最適化された学びの実現	教育1-c-1	AIDリルの導入	児童生徒の解答をAIが分析し、次に取り組むべき問題を自動で出題するなど、個々の習熟度に応じた学習を実施します。	導入学校数									100%		100%							○	⇒	⇒							
まちづくり	教育	教育委員会	一人ひとりの児童に合わせたよりよい教育の提供にむけた環境構築	校務の効率化による注力すべき業務へのシフト	校務の効率化支援	教育2-1-1	統合型校務支援システムの導入	統合型校務支援システムの導入により校務の効率化を実現します。	システム導入率			100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒									
まちづくり	教育	教育委員会	一人ひとりの児童に合わせたよりよい教育の提供にむけた環境構築	保護者等とのコミュニケーション円滑化による学校・家庭協働での支援体制強化	保護者等とのコミュニケーションの基盤の整備	教育3-1-1	学校・家庭間連絡システムの導入	学校から保護者への連絡や保護者から学校への連絡をシステム化します。	活用学校数	○		0%	50%	70%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒									
まちづくり	都市整備	都市整備部	高度なデータを活用した住みやすいまちの実現	人流・交通量解析等による、まちのリアルタイム情報の把握	まちづくり計画に必要な人流情報の把握	都市1-1-1	(まちなかウォークラブル推進、データ使用料)人流データの把握	携帯電話のローミング情報をもとに国内居住者や訪日外国人の人口分布や動態の把握を図ります。	取得データ種別数					1	2	2	2	0		0						○	⇒	⇒	⇒	⇒						
まちづくり	都市整備	都市整備部	高度なデータを活用した住みやすいまちの実現	人流・交通量解析等による、まちのリアルタイム情報の把握	まちづくり計画に必要な施設情報の把握	都市1-1-4	空き家推定ツール開発共同研究事業	空き家の状況把握や定期的な実態確認を実施します。	確認建物数%						(株)ゼンリンとの協議継続中	(株)ゼンリンとの協議継続中	100%	(株)ゼンリンとの協議継続中	100%	100%	100%	…	○	⇒	⇒	⇒	⇒									
まちづくり	都市整備	都市整備部	高度なデータを活用した住みやすいまちの実現	人流・交通量解析等による、まちのリアルタイム情報の把握	SNSを活用した公共施設の情報取得と解析	都市1-2-2	SNSを活用した公園管理	SNSにより、公園の遊具や植物の状況(老朽状態や育成状況など)について市民からの情報取得を実施します。	導入公園率(%)					100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	○	⇒	⇒	⇒	⇒										
まちづくり	都市整備	都市整備部	高度なデータを活用した住みやすいまちの実現	3Dモデル等の活用による都市の見える化とデータに基づくまちづくりの立案と実践	3D都市モデルの活用	都市2-1/2/3-1	3D都市モデル構築業務	建物の高さや構造種別などを立体的に把握し、3Dでの都市の状況表示を実現します。	市民対応での活用率	○		0%	0%	14.0%	14.0%	28.0%	33.0%	42.0%		56.0%		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒									











分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																		実施年度								
						名称	名称	PID		名称	概要	項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9				
行政経営	多様化	行政経営改革部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	デジタルデバイス対応	高齢者、障がい者等のデジタルデバイス対応	多様化2-a-1-1	高齢者・障がい者へのデジタル活用支援	高齢者や障がい者がオンライン申請等を活用できるよう、教育等の支援をします。	デジタル活用セミナー実施回数	21	30	27	48	27	45	27	31	27		27			27			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒					
行政経営	多様化	総務部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	デジタルデバイス対応	情報発信の多言語対応	多様化2-b-1-1	広報の多言語対応拡張	広報等について対応する言語を拡張し、より幅広い外国人への情報発信を図ります。	対応言語数	4	4	4	4	4	133	4	249	243		243			243			⇒	⇒	⇒	○	⇒	⇒					
行政経営	多様化	行政経営改革部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	デジタルデバイス対応	情報発信の多言語対応	多様化2-b-1-2	(先進的ICT技術活用推進事業)AI翻訳ソフトの実証と導入	汎用的なAI翻訳ソフトを実証し、様々な業務に導入します。	翻訳機使用回数	20	38	20	47	20	11	20	35	20		20			20			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒					
行政経営	多様化	市民生活部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	デジタルデバイス対応	ネットワーク利用可能施設の拡大	多様化2-c-1-1	市内公共施設へのWi-Fi環境導入	より幅広い公共施設で市民がインターネットを活用できるようWi-Fi環境を導入します。	導入施設数	0	0	29	29	29	29	29	30	30		30			30			○	○	○	⇒	⇒	⇒					
行政経営	多様化	総務部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	情報発信の最適化	情報発信のデジタル化	多様化3-1-1	広報紙のデジタル化	現在紙が中心となっている広報誌をオンライン化することで幅広い要望に対応します。	アクセス数	3,920,000	3,944,938	4,272,800	4,077,432	4,625,600	4,051,623	4,939,200	3,770,178	5,252,800		5,566,400			5,880,000			○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒					
行政経営	多様化	行政経営改革部	多様なニーズに対応し、必要な人が必要なサービスを受けられる市役所	情報発信の最適化	情報発信のデジタル化	多様化3-1-2	LINEサービスの拡張	現在も取組を行っているLINEによる情報発信について、対象サービスを拡張し、より幅広い情報発信を行います。	対応業務数	9	9	11	9	13	8	15	20	15		15			15			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒					



分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標														実施年度								
						名称	名称	PID		名称	概要	項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9
行政経営	高質化	行政経営改革部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	様々なデータを活用した業務の高度化	データ利活用環境の整備	業務効率化3-1-1	BIツール等を用いたデータの見える化	時間のかかるデータ分析について、BIツールを用いることによりデータ活用の効率化ができるか実証の上構築を行います。	ダッシュボードの作成件数	0	0	0	0	6	6	12	16	18		24		30		○	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	高質化	行政経営改革部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	様々なデータを活用した業務の高度化	データ利活用環境の整備	業務効率化3-1-2	DX企画推進事業(長崎県データ連携基盤)	行政・民間が保有する地域内外の様々な情報(主に統計情報等)を収集、分析、利活用を容易にする、データ連携基盤を利活用し、地域課題解決等の施策立案を効率化、高度化します。	本市データをシステム連携し利用した回数	0	0	1,000	1,595	1,200	1,607	1,400	3,865	1,600		1,800		2,000		○	⇒	⇒	⇒	⇒				
行政経営	高質化	行政経営改革部	デジタル技術のフル活用による職員の仕事の高質化	様々なデータを活用した業務の高度化	データ利活用環境の整備	業務効率化3-1-3	データ共有プラットフォーム		ダッシュボードの作成件数	/	/	/	/	6	6	12	16	18		24		30		○	⇒	⇒	⇒	⇒				



分野	分類	主体部局	DX重点課題	課題	ステップ	プロジェクト			リーディング	活動指標																		実施年度								
						名称	名称	PID		名称	概要	項目	R3	R3実績	R4	R4実績	R5	R5実績	R6	R6実績	R7	R7実績	R8	R8実績	R9	R9実績	R4	R5	R6	R7	R8	R9				
行政経営	職場環境	行政経営改革部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	自治体情報システムの標準・共通化	基幹システムの標準化対応	職場環境2-2-1	基幹システムの標準化	国が示すシステム標準化の指針に従い、基幹システムの標準化対応を行います。	○	標準化対応業務数	/	/	/	/	/	/	18		20		20		...	...	○	○	○	⇒								
行政経営	職場環境	行政経営改革部	職員の能力を最大限発揮できる魅力的な職場環境	時間・場所にとらわれないスマートワーク環境	リモートワークに適したネットワーク・パソコン環境の検討と実証	職場環境1-a-1-1 職場環境1-b-2-2	(庁内情報化基盤管理事業)スマートワーク環境の整備	リモートワーク用の端末・ネットワークを整備し、自宅等の庁外で業務ができる環境を構築します。あわせて、本庁舎にあるサーバをクラウド環境に移行します。	○	リモートワーク利用人数	10	29	108	14	108	26	108	75	108	108	108	108	○	○	○	○	⇒	⇒								
行政経営	推進課題	行政経営改革部	推進課題			推進1	ドローンの活用推進			ドローンシェア利用回数	0	0	0	0	19	5	40	2	40	/			40		○	⇒	⇒									
行政経営	推進課題	行政経営改革部	推進課題			推進2	生成AIの業務活用			職員利用数	/	/	/	/	/	/	80	1004	320	720	1280			○	⇒	⇒	⇒									
行政経営	その他	行政経営改革部	3つのしかけ			仕掛け1	CDO補佐官・DXコーディネータと連携したDX推進	CDOを補佐するCDO補佐官や、DXについて特定の部局のアドバイザーであるDXコーディネータを任用することにより、市役所のDXを強力に推進します。		CDO補佐官との協議回数	0	0	10	10	20	51	20	25	20	20	20		○	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒								
						101	リーディングプロジェクト数	26																												